



## 5 計画において目指す社会

男女共同参画社会は「女性にとって暮らしやすい社会」がすなわち「男性にとっても暮らしやすい社会」になることであり、この実現を目指すものです。

本市は、男女共同参画社会を目指すためにその取り組み方を、平成25(2013)年に「甲府市男女共同参画都市宣言文」として、以下の6項目に集約しました。

### 【甲府市男女共同参画都市宣言文】

- 物事を決めるすべての場面で「男女がともにいる風景」をつくります。
- 一人ひとりを大切にし、互いの人権を認め守り合う社会（まち）をつくります。
- 男女の特性に基づく差別をなくし、社会的因習や慣習を正します。
- 男女がともに支え合い、生涯をとおした健康づくりをします。
- 互いの人権を尊重した温かい地域や家庭をつくります。
- 「ひとりの人間」として働く意欲や能力が公平に活かされる社会（まち）をつくります。

この宣言は、だれもが平等で、それぞれの尊厳を重んじ、一人ひとりがいきいきと活躍できる社会の実現を目指すもので、これまでのこうふ男女共同参画プランを通じて、様々な施策を推進してきた中で、男女共同参画への理解は市民に徐々に浸透し、取組も広がりを見せてきています。

しかし、社会全体において固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスによる決めつけが依然として存在しており、引き続き意識啓発に取り組んでいく必要があります。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大が女性の経済的困窮を招き、配偶者等からの暴力や性暴力を深刻化させるなど、女性の地位向上や人権保護に向けた取組を進める必要があります。

少子高齢化に伴う労働力不足やライフスタイルの多様化、国際化などの社会情勢の急激な変化に対応していくためにも、多様性を認め合い、それぞれの能力が十分に発揮できる環境づくりが必要となっています。男女共同参画社会の実現に向けて取組を進めることは、「男女」にとどまらず、年齢、国籍、性的指向・性自認（性同一性）に関することなども含め、幅広く多様な人々を包摂し、すべての人が幸福を感じられる、インクルーシブな社会の実現にもつながるものです。男女共同参画社会は、多様性を価値とする21世紀社会の中心に位置すべき重要な概念であり、すべての人にとって、個人の資質・能力が十分に開発・発揮され、個人の選択に応じた自分らしい生き方を可能にする社会の構築を目指すものです。